

## 津島型町家の住宅モデルプラン提案募集要項

### ■主旨

本市は、中世・近世に伊勢と尾張をつなぐ湊町として栄え、自然堤防の上につくられた本町通りを中心に町並みが形成されました。その町並みは、地形に合わせて緩やかに孤を描いており、町家の風情を引き立てるとともに、今なお残る古い町並みは本町筋付近の多くの神社仏閣と合わせ、歴史的な風情も味わえます。

最近では、そうした歴史ある町家も老朽化が進み、世代交代もあいまって空き家になり、中には取り壊されるものもでてきました。

本市では、この町家を地域資源として活かして「歴史・文化ゾーン」のまちづくりを進めています。その中で、歴史ある町家建築の資源を環境や防災など現在の基準に対応されたうえで現代の生活環境を考慮しながらも、積極的な保存を行い、豊かな生活を過ごせる町家・町並みにしていきたいと考えています。

それを実現させるプランを全国から「津島型町家の住宅モデル」として提案募集します。

### ■津島市の紹介

本市は、古くは鎌倉時代から、木曾川を渡り尾張と伊勢を結ぶ要所「津島湊」として、また天王信仰の中心地である「天王社（現津島神社）」の門前町として栄えてきました。この津島神社は「西の八坂、東の津島」と並び称され、全国に3000余あるといわれる「天王社」の総本社です。

戦国時代には、織田信長が津島湊を持つ津島の町の財力を背景にして尾張を統一し、天下に覇を唱えたのは周知の事柄です。また、江戸時代には、積極的に新田開発に注力し、農地を生み出すことで豊かさを保ち続けました。

その後の明治時代の末期には毛織物産業の基盤が整備され、昭和初期から戦後の高度経済成長期にかけて毛織物産業で栄えました。

こうして、津島は長い時代を通して、活気に満ち溢れる「まち」でした。

ところが、昭和40年代頃から、海外からの安い毛織物の輸入が始まると、津島の毛織物産業も徐々に衰退し、今では本町筋周辺でも空き家や駐車場が目立つ、賑わいが失われた「まち」になってしまいました。

この、古くは湊町として栄えた津島では、津島神社の祭礼として600年近くの伝統を誇り、日本三大川まつりの一つに数えられる尾張津島天王祭が今に引き継がれてきています。この天王祭は全国33の「山・鉾・屋台行事」とともにユネスコ無形文化遺産登録候補にもなっています。

まきわら船が津島笛を奏でながらゆうゆうと天王川を漕ぎ渡る姿は、時代絵巻というにふさわしい荘厳華麗な川祭りです。この祭りには、津島から離れた

住民も戻り、その日だけは昔の賑わいを取り戻します。

また、本町筋の町方（まちかた）の祭りが天王祭なら、地方（じかた）と言われる本町筋の背面にある町が山車を引く、尾張津島秋まつりも盛大に行われます。秋まつりでは、からくり人形をのせた絢爛豪華な山車が、賑やかに繰り出します。華麗で勇壮な山車が昔ながらの町並みをからくり人形の妙技を披露しながら練り歩く風景は、見るものを魅了します。

「まち」の賑わいの中心となる本町筋は、人々が行き交う自然堤防の上につくられたため、比較的水害にも強い地域となっています。

その本町筋の町家は、瓦葺平入の2階建てやツシ2階(中2階建て)が中心で、大きなしっかりした造りで、1階部分には格子戸が入れられ、2階部分は柱や貫を外部に見せてその間に格子を入れるという形式が特徴です。町家は密集して建てられていることから、漆喰で覆われた「袖うだつ」を設けた町家もあり、火災の備えもされています。

また、祭礼用として、普段とは違う入口を設けていたり、お客様をもてなすため、1つの町家に複数の茶室を設けるなど工夫された作りとなっており、これも津島の町家の特徴となっています。

こうした歴史のある「まち」も、時代の流れとともに活気を失い、町家の特徴でもあるウナギの寝床のように奥に深い建物の配置は、現代の生活様式に合わないということで、空き家となるものや、新しい住宅に建て替えられるもの、あるいは取り壊され駐車場になるものなどが増え、風情のある町家や町並みも失われつつあります。

本市は、この歴史ある「まち」に今も残る町家を貴重な財産と考えます。この町家、町並みを、現代の生活様式にも合わせて、使い、暮らし、活かすことにより、後世に受け継いでいきたいと考え、この提案募集を実施します。

## 1 課題

### 津島型町家の住宅モデルプラン

- ・新築、増改築、改修のいずれも可。
- ・対象エリア内の実在する敷地、建物、街区等を、自由に設定すること。
- ・町家での暮らし方、使い方を合わせて提案すること。

## 2 対象エリア

別図のとおり

## 3 現地見学会（事前申込必要）

日時：1回目 平成27年8月1日（土） 午後2時から

2回目 平成27年8月8日（土） 午前11時から

場所：津島市文化会館 1回目 小ホール 2回目 視聴覚室

住所：津島市藤浪町3丁目89-10 電話 0567-24-1122

内容：1時間程度スライド等による説明の後、徒歩にて現地見学会を実施します。

見学場所：対象エリア、本町筋にある町家（2軒程度の建物内見学を予定）

申込先：（公社）愛知県建築士事務所協会津島支部コンペ委員会

住所 〒496-0046 愛知県津島市柳原町2-40-3

電話 090-4257-0011

電子メール 2015compe@compe24ma.x0.com

## 4 提出図書

提出図書は以下の4点とします。

### (1) 応募申込書

ホームページに掲載している所定の応募申込書に必要事項を記入してください。（A4用紙）

### (2) 図面

- ・用紙はA1サイズ（594×841mm）縦使い1枚とします。なお、サイズ厳守、変形不可とします。仕上げは自由としますが、写真等を貼り付ける場合は剥落しないように注意してください。なお、パネル、ボード類は使用しないでください。模型、ビデオ等は受け付けません。
- ・設計主旨（10ポイント以上の文字で記入）、配置図、平面図、断面図、立面図、透視図等提案内容を説明するのに必要な図面（縮尺明記のこと）、模型写真等を自由に組み合わせ、わかりやすく表現してください。
- ・応募者の氏名・所属などがわかるようなものは記入してはいけません。

### (3) 設計主旨書

図面の設計主旨を、600字以内の文章にまとめ、A4判用紙1枚（用紙は縦使い・横書き）に印刷してください。（応募者の氏名・所属などがわかるようなものは記入してはいけません。）

#### (4) 上記の電子データ（CD若しくはDVD）

注1：応募申請書は所定の書式に打ち込んでください。

注2：設計主旨書はワードファイルに打ち込んでください。

注3：応募作品図面は、4MBから5MBまでにしたPDFとしてください。

注4：すべて、提出書類と同じであることを確認してください。

### 5 その他注意事項

(1)ほかの設計競技等と二重応募になる作品、あるいはすでに発表された作品は応募できません。

(2)応募作品は、本人の作品でオリジナルな作品であることを要求します。

### 6 応募資格

(1)年齢・性別・国籍は不問、資格要件なし（共同設計可）

(2)プレゼンテーションへの出席

- ・一次審査で選出された入選者は、二次審査で実施する公開プレゼンテーション（平成27年12月5日（土））に参加していただきます。欠席の場合は失格となります。また、代理によるプレゼンテーションは認めません。

### 7 提出方法

(1) 応募申込書、図面（A1サイズ）、設計主旨書（A4サイズ）を一括して提出してください。なお、受領通知が必要な方は、受領通知返信ハガキ（官製ハガキに代表者の住所・氏名記入のこと）を同封してください。

(2) 応募作品は1案ごとに別々に提出してください。

(3) 締切期日：平成27年10月16日（金）必着（午後5時まで）

(4) 提出先：（公社）愛知県建築士事務所協会津島支部コンペ委員会

住所 〒496-0046 愛知県津島市柳原町 2-40-3

電話 090-4257-0011

電子メール 2015compe@compe24ma.x0.com

### 8 審査方法

(1) 一次審査会（非公開）

日時：平成27年10月31日（土）

- ・一次審査会で入選者10名以内を選出します。
- ・入選者の発表はホームページで行うとともに、入選者には主催者から直接連絡します。

## (2) 二次審査会（公開）

日時：平成27年12月5日（土）午後1時から午後6時まで

予定場所：津島神社参集所

住所 津島市神明町1番地

電話 （0567）26-3216

- ・入選者によるプレゼンテーションを実施し、その後に最終審査を行い、各賞と佳作を決定します。
- ・プレゼンテーションにあたっては、ダイアグラムや図面を追加し、さらに詳細な説明をすることも認めます。
- ・代理によるプレゼンテーションは認めません。プレゼンテーション参加に要する旅費、その他の費用は応募者負担とします。

## (3) 審査員（敬称略順不同）

審査委員長 難波和彦（東京大学 名誉教授／放送大学 客員教授）

審査委員 朝岡市郎（（公社）愛知県建築士事務所協会 会長）

浅野 聡（三重大学大学院工学研究科 准教授）

生田京子（名城大学理工学部建築学科 准教授）

清水裕之（名古屋大学大学院環境学研究科 教授）

日比一昭（津島市長 一級建築士）

## 9 入選者の提出図書

入選者は、下記のファイルを DVD または CD に納めた電子データを郵送していただきます。（提出期限は一次審査後、入選者に事務局より連絡します。）

- ・応募作品図面の PDF ファイル（350dpi 以上）。
- ・設計主旨の要約（200 字以内）のテキストデータ
- ・顔写真（横 4 cm×縦 3 cm以内：顔が写っているものに限る）のデータ  
また、プレゼンテーションで使用するスライドは、PDF データ若しくはパワーポイントデータとして、DVD または CD で二次審査の受付時に提出いただきます。

## 10 表彰および発表

### (1) 賞

最優秀賞	1点以内	賞状・賞金（50万円）
優秀賞	2点以内	賞状・賞金（各20万円）
佳作	上記により最高10点以内	賞状・賞金（各5万円）

注：賞金は、すべて税込みです。

(2) 入選の発表

入選者には、平成27年11月上旬に通知します。

(3) 表彰式

平成27年12月5日（土）開催の二次審査会に引き続き、表彰式を開催します。

## 11 著作権

入選作品の著作権は、入選者に帰属します。

ただし、津島市がこの事業の主旨に則して入選作品をホームページへの掲載、図書の出版、展示などの公表のために用いる場合、入選者は無償で作品データ等の使用を認めることとします。

## 12 その他

(1) 応募作品は、返却致しません。必要な方は作品の控えと作品データを保管してください。

(2) 応募規程に違反した場合は受賞を取り消すことがあります。

(3) 応募作品は、津島市内において展示する予定です。

## 13 申込み・問い合わせ（事務局）

（公社）愛知県建築士事務所協会津島支部コンペ委員会

住所 〒496-0046 愛知県津島市柳原町 2-40-3

電話 090-4257-0011

電子メール 2015compe@compe24ma.x0.com